

ホールはその街の文化の象徴ですから、良いホールができるというのは、ミュージシャンとしてもとっても嬉しいし、ありがたいことです。30周年ということは、相当素晴らしい文化的

ホールから街が変わる

に良いものを佐賀に持ち込んだのではないのでしょうか。それまでは積極的ではない街であっても、いろんなものが入ってくることによって刺激されて、自分たちでも何かやろう、というふう

になっていく。それがこの国が元々持っていた文化の伝播の仕方だと思います。箱を作るだけではなく、それを運用する人の役割も大きいです。誰を呼ぶ

佐賀市文化会館30周年ということ、同会館の思い出を教えてください。もうそんなになるんですね。早いですね。確か、こけら落としのトークショーに呼ばれた記憶があります。なんでしゃべるだけなんだろう、と思いました。一度、佐賀市民会館と間違えたことがあります。高校生のバンドをやりました。俺のコンサートじゃない感じだな、と思って聞いたら、違ってたんでスゴスゴ帰りました。佐賀はアマチュアやグループ時代に行き届いていた思い出が強い。コンサートツアーの中で佐賀はほかとちよっとニュアンスが違う。地元という意識が強い。なんか照れくさいようなところがあります。そんな別に改まらなくても、みたいな。

佐賀市文化会館30周年ということで、同会館の思い出を教えてください。もうそんなになるんですね。早いですね。確か、こけら落としのトークショーに呼ばれた記憶があります。なんでしゃべるだけなんだろう、と思いました。一度、佐賀市民会館と間違えたことがあります。高校生のバンドをやりました。俺のコンサートじゃない感じだな、と思って聞いたら、違ってたんでスゴスゴ帰りました。佐賀はアマチュアやグループ時代に行き届いていた思い出が強い。コンサートツアーの中で佐賀はほかとちよっとニュアンスが違う。地元という意識が強い。なんか照れくさいようなところがあります。そんな別に改まらなくても、みたいな。

市民会館と間違えた

さだまさしさんに聞く



祝 佐賀市文化会館30周年 “文化の殿堂”これからも



佐賀市文化会館が開館30周年を迎えた。地方文化施設のバイオニアとして1988年に産声を上げて以来、佐賀に文化の風を吹き込み続けてきた。クラシック、ポップス、邦楽、演芸、演劇などいろいろな分野の一流のアーティストが舞台に立ち、観客数は累計約1,200万人を数える。今回の特集では、同館の“常連”さだまさしさんにインタビュー。思い出とともに応援メッセージをもらった。「30年こんなことあんなこと」のコーナーでは同館にまつわるトピックを5つにまとめた。最後に記念事業の目玉「サントペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団」公演を紹介する。

のか、何をやるのか、誰が来るのか、そこへ人が集まるのか。その企画力がないと良いホールにはなりません。相乗効果というか、サッカーのサガン鳥栖でもJ-1に定着したのは鳥栖という街のパワーですよね。いきなりは無理です。実はこういうささやかなホールから街全体が改革されていくんです。実際にパフォーマンスするアーティストとして、ホールの印象は？ やりやすいホールです。クラシックも電気楽器を使うコンサートも両方やしやすいところはあまりない。音楽的に求められるものが真逆なので珍しいホールです。スタッフにとってもやりやすい。セッティングがスムーズにできると、スタッフが気持ちよく仕事できる。それが一番大事です。当然、僕らも雰囲気良くなる訳ですから。ホールというのは会場だけではなく、ロビーなど外回りも含まれます。お天気が悪いときには、早く開場してあげて、と願います。特に寒いときとか、暑いときは気を使います。佐賀市文化会館はロビーも階段も広いので、そういうときに力を発揮できる。お客さんに気持ちよく聴いて帰ってもらえるかどうか。そういう意味でもここは本当に良いホールです。

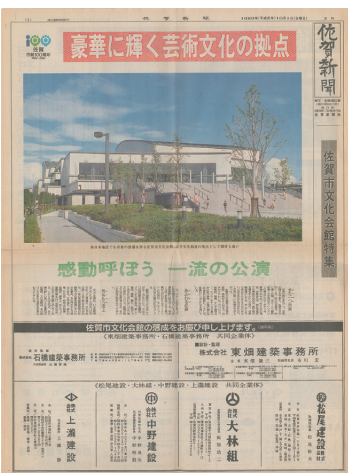
常に良いものを探す

さだまさしさんは今年レコードデビュー45周年。ずっと続ける秘訣は？ 続けられないんですよ、普通はね。なぜならお客さんがもたなくなると。お客さんが来てくださらないとコンサートは成立しません。お客さんに

30年あんなこと こんなこと

1 市制百周年記念 手探りスタート

佐賀市文化会館は佐賀市制100周年の目玉事業としてスタートした。観客席1800の大ホールと814席の中ホールを備えた概要に、計画段階から「そんなに観客が来るのか」と懸念の声があったという。1988年10月に開館すると開館イベントは満員。現在では累計観客数約1200万人、稼働率約8割と、九州の地方施設としては優秀な成績を



開館を伝える佐賀新聞紙面

文化研究者のドナルド・キーンさん講演会、棟方志功展など、多彩なプログラム。企画から始まり、広報、チケット販売、ひとつひとつ手探りで経験を積み上げていった。アン・ルイスのライブのほか、先代三遊亭圓楽の高座、日本

ベント企画運営の経験者もない素人軍団にも関わらず、オープニングイベントは3カ月間続いた。アン・ルイスのライブのほか、先代三遊亭圓楽の高座、日本

常に良いもの探しながら



た農業に支えられているわけですから、当然、文化は育ちますよね。長崎みたいに外国から持ってきたものではなく、異質の文化を育てずつと培ってきた。すごい会社のトップで佐賀出身という人は多いです。そういう意味では、一見、九州の中では目立たない県のひとつですが、ちゃんとそういうものが伝わっているんじゃないかなと思います。

食べ物も独特のものがありませんよ。有明海と玄界灘という2つの海がありますし。佐賀牛はうまい!! 丸ぼうろも好きです。水が良いから日本酒もうまい。焼き物もあるし、なんでもあつね佐賀は。脊振を越えればすぐの福岡の文化も入っているし、長崎、熊本も近い。そういう意味では面白いところですよ。

佐賀のみなさんにメッセージを。佐賀はNBCを聴いてもらっているので、アマチュア時代からいつもいつも支えて頂いて嬉しいです。最近の佐賀の人は新しいものに敏感な人が増えているように感じます。僕も新しいさだまさしを発信して、新しく反応してもらえよう頑張っています。これからもよろしくお祈りします。

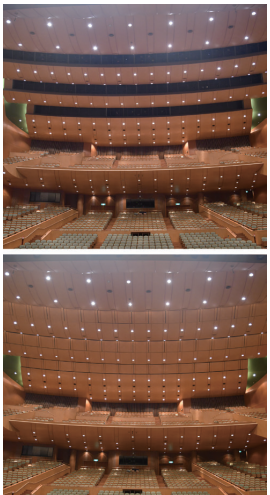
最後に佐賀市文化会館へエールをお願いします。これからますます使わせて頂いて、会場に違った文化を吹き込めるような、そういう活動をしていきたいと思っています。これからもよろしくお祈りします。

佐賀市文化会館 主な公演

1989	金子由香利、竜堂組 アン・ルイス、石川さゆり、佐野元春、三遊亭圓楽、三遊亭楽太郎、バリ「木の十字架合唱団」安田祥子
1990	川中美幸、武田鉄矢、角松敏生、中村雅俊、神野美伽、川たかし、プリンセスプリンス、JUN SKY WALKERS、渡辺美里、山本譲二、中条さし、北島三郎、杉良太郎、堀内孝雄、チャゲ&飛鳥、田原俊彦、近藤真彦、金子由香利、さだまさし、五木ひろし、秋吉敏子、石川さゆり、オハラ「次郎物語」
1991	JUN SKY WALKERS、ハウンドドッグ、B'z、尾崎豊、田原俊彦、布施明、小林幸子、稲垣潤一、永井真理子、シャカタク、武田鉄矢、松任谷由美、劇団四季、チエコフィルハーモニー管弦楽団、市川猿之助、テイクシックス
1992	チャゲ&飛鳥、JUN SKY WALKERS、ザ・ブルーハーツ、アダモ、松原のぶえ、B'z、吉田栄作、細川たかし、リチャードクレイダーマン、水前寺清子、郷ひろみ、角松敏生、ハウンドドッグ、高橋真梨子、鈴木雅之、加藤登紀子、アン・ルイス、爆風スランプ、M.O.、ロジェ・ワグナー合唱団
1993	中村美津子、細川たかし、南こうせつ、美川憲一、谷村新司、森進一、山本リンダ、武田鉄矢、KAYE、横原敬之、稲垣潤一、ハウンドドッグ、中山美穂、コロッケ、松原のぶえ、中村雅俊、鈴木雅之、リンドバーグ、アルフィー、ダカール、アン・ルイス、ミッシェル・マクドナルド、アナニアシウィリ、ロイヤル・アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
1994	坂本冬美、浜田省吾、中村美津子、鳥羽一郎、山川豊、大江千里、佐野元春、財津和夫、ザ・ブルーハーツ、松平健、藤あや子、研ナオコ、中西圭三、清水アキラ、舟木一夫、トロカデロ・デ・モンテカルロパレエ団、ハウンドドッグ、シンクライトーキング、杉良太郎、五木ひろし、高橋真梨子、さだまさし
1995	石川さゆり、清水アキラ、三船和子、中村美津子、鈴木雅之、徳永英明、ハウンドドッグ、武田鉄矢、西郷輝彦、小田和正、さだまさし、都はるみ、JUBE、メナ、キムヨンジャ、里見浩太郎、中西圭三、伊東ゆかり、香西かおり、由紀さおり、安田祥子、リンドバーグ、東京スカパラダイスオーケストラ
1996	小澤征聖指揮新日本フィル交響楽団、スターダストレビュー、五木ひろし、プリンセスプリンス、武田鉄矢、川中美幸、シャ乱Q、リチャードクレイダーマン、勝新太郎、堀内孝雄、杉良太郎、玉置浩二、美川憲一、北島三郎、松山千春、スピッツ、献血運動推進全国大会
1997	中村美津子、東京ヴォードビルショー、谷村新司、中西圭三、石川さゆり、かしまし娘、郷ひろみ、玉置浩二、小椋佳、布施明、瀬川暎子、五木ひろし、ネーネーズ、小田和正、

2 その 世界のオザワが ホール音響絶賛

新日フィルを指揮する小澤征爾はリハーサル中に、「バンド」と呼ばれるホーンセクションの位置決めのために2階客席に足を運んだ際、「良い響きのホールですね。」と感想をもらしたという。この日演奏されたアルプス交響曲は同館スタッフによると、



大ホール天井の残響時間可変装置。開口部を開けたり(上)、閉じたり(下)してコントロール

この1996年以降演奏された事はないとい

う。佐賀のファンに大曲を聴いてもらいたい

という世界のマエストロのこだわりを感じる。音響が良いことは大ホール設計から計画されている。まず平面が左右非対称であることが複雑に広がっていき、さらに客席最上部まで生音を届けるために、音響反射板を設置し、楽器や肉声をそのまま増幅。客席天井を部分的に開閉したり、客席後方の吸音カーテンを開閉することに

より反射音を調整。残響時間を1.5〜2.1秒まで調整することができ、ちなみに世界的に有名なホールの残響時間はザルツブルグ祝祭劇場(ウイーン)が1.5秒、メトロポリタンオペラハウス(ニューヨーク)は1.7秒。小澤以外のクラシックの世界的名手から大きな賛辞が贈られている。ここでレコーディングしたい、どのオファーもあったという。



指揮/ ユーリ・テミルカーノフ
ピアノ/ ジョージ・リー

30年ぶりマエストロ“帰還”

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団

マエストロ30年ぶりの帰還。佐賀市文化会館30周年の最大の目玉公演が11月16日に行われる「サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団」だ。同楽団の来佐は同会館のオーブニングイベント

以来。当時、就任したばかりだった指揮者のユーリ・テミルカーノフとともに円熟味を増した世界最高峰の楽団が再び大ホールを熱狂させる。同楽団は1772年、宮廷管弦楽団と

して発足したロシア最古の交響楽団。指揮者のテミルカーノフは1938年生まれ。同楽団の前前任指揮者ムラヴィンスキーに師事。1988年、師の逝去後、同楽団の音楽監督・首席指揮者に選出された。今回のプログラムは同楽団の十八番であるチャイコフスキー「悲愴」

とならぶ人気曲である「交響曲第5番」とCMで何度か使用されたことで耳馴染みの「ピアノ協奏曲第一番」だ。ピアノは2015年、チャイコフスキー国際コンクール第2位に輝いたジョージ・リー。華麗な技巧と優雅さで人気の若手注目株だ。世界的オーケストラの公演にも関わらず前売チケットは6千円からと手頃な価格に抑えられている。これは30年前と同じ価格。クラシックに縁がなかった人もこの機会に世界最高峰の音楽を体験してみてもどうだろうか。

11/16 ピアノはジョージ・リー
チャイコフスキー 国際コン第2位

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団

11月16日(金) 佐賀市文化会館 大ホール
開場18:15 開演19:00

全席指定 S席 10,000円
A席 8,000円
B席 6,000円

※未就学児童入場不可
(無料託児所あり/公演日の1週間前までに要申込・先着順)

◇プレイガイド
佐賀市文化会館/佐賀玉屋/モラージュ佐賀

チケットぴあ (Pコード/116-052)
ローソンチケット (Lコード/83806)
セブンチケット http://7ticket.jp

問 佐賀市文化会館 ☎0952-32-3000

4 大ホールで サークラス公演!?

30年の歴史の中で多彩なイベントが行われた。レジエント級のスターも多数公演。話題となったのが1999年のクリスマスに開催された松任谷由実のコンサート。これまで見たこともないような巨大セットにスタッフもびびくり。普段は建築物を作っている職人さんも動員して組み上げたという。ロシアのポリシヨイサーカス公演では大ホールで熊

や馬が出演。動物特有のニオイが消えずに大変だったという。大ホールも中ホールもトラックを直付けてできるので作業効率が良く、各イベントのスタッフにも大好評。イベントホールには自動車を直接持ち込むことができるので、いろんな展示会に利用されている。県内随一のコンベンション施設でもある。

3 アーティストの 希望に全力対応

公演するアーティストから渡される「手配書」。聞いたこともない銘柄のミネラルウォーターを探るために佐賀市内を駆けずり回ったり、楽屋にミディアムレアの肉を届けるために料理人さんと交渉したり。文化会館スタッフは要望に応えるため全力を尽くす。楽屋での過ごし方も人様々。某Jポップの大御所はパターの練習をしていたり、

某映画音楽の巨匠は簡易ベッドをリクエストした。中でも異色だったのは某演劇関係者。「一人になれて外の空気に触れる場所」とのリクエストにスタッフ必死に頭を絞りに出てきたのが、文化会館の屋上。結局使うことはなかったという。そんな努力も全てはアーティストにベストパフォーマンスをもらうため。

5 文化の裾野を広げる 出前授業積極的に

佐賀市文化会館の活動の大きな柱となっているのが「アウトリーチ」と「ワークショップ」だ。アウトリーチでは国内外の一流アーティストが佐賀市内の学校などに出張しパフォーミングなどに出張しワークショップは同館に子どもたちを集め、プロのアーティストの指導のもと、実際に楽器や舞踊などを体験してもらう。芸術と触れる機会を増やそうという意欲的なプログラムだ。佐賀市文化会館での体験



大詫間小学校で行われた宮谷理香さんによるアウトリーチ

2008	梅沢富美男・前川清、スターダストレビュー、島津亜矢、エブリリットリング、高橋真梨子、秋川雅史、TOKO、郷ひろみ、モーニング娘、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団、加山雄三	2008	梅沢富美男・前川清、スターダストレビュー、島津亜矢、エブリリットリング、高橋真梨子、秋川雅史、TOKO、郷ひろみ、モーニング娘、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団、加山雄三
2009	美輪明宏、美川憲一、長山洋子、加山雄三&ワイルドワンズ、中島美嘉、綾小路きみまろ、ゴスペラーズ、さだまさし、梅沢富美男・前川清、水森かおり、天童よしみ、伊勢正三、太田裕美、大野真澄、スターダストレビュー、オレンジレンジ、パーフェクトシアター、ニルンベルク交響楽団、ワーキングショップ開始	2009	美輪明宏、美川憲一、長山洋子、加山雄三&ワイルドワンズ、中島美嘉、綾小路きみまろ、ゴスペラーズ、さだまさし、梅沢富美男・前川清、水森かおり、天童よしみ、伊勢正三、太田裕美、大野真澄、スターダストレビュー、オレンジレンジ、パーフェクトシアター、ニルンベルク交響楽団、ワーキングショップ開始
2010	五木ひろし、布施明、尾崎紀世彦、川中美幸、藤あや子、ケミストリー、UVER world、小椋佳、flumpool、高橋真梨子、テゴモス、いきものがかり、ゆず、郷ひろみ、沢田研二、山本譲二、松原のぶえ、鳥羽一郎、谷村新司、井上陽水、春日大社の雅楽、ウィーンモーツァルトオーケストラ、アウトリーチ開始	2010	五木ひろし、布施明、尾崎紀世彦、川中美幸、藤あや子、ケミストリー、UVER world、小椋佳、flumpool、高橋真梨子、テゴモス、いきものがかり、ゆず、郷ひろみ、沢田研二、山本譲二、松原のぶえ、鳥羽一郎、谷村新司、井上陽水、春日大社の雅楽、ウィーンモーツァルトオーケストラ、アウトリーチ開始
2011	細川たかし、香西かおり、島津亜矢、さだまさし、TOKO、水森かおり、松山千春、伍代夏子、千昌夫、ゴスペラーズ、財津和夫、山下達郎、イ・ムジチ合奏団、佐渡裕×シエナ	2011	細川たかし、香西かおり、島津亜矢、さだまさし、TOKO、水森かおり、松山千春、伍代夏子、千昌夫、ゴスペラーズ、財津和夫、山下達郎、イ・ムジチ合奏団、佐渡裕×シエナ
2012	美輪明宏、佐渡裕×シエナ、キムヨンジャ、小林幸子、郷ひろみ、水樹奈々、千昌夫、新沼健治、アンジェラアキ、細川たかし、タッキー&翼、島津亜矢、ウィーン交響楽団、ヨハン・シュトラウス・アンサンブル、全国障害者芸術祭水森かおり、さだまさし、AAA、佐渡×シエナ、ゴールデンボンバー、郷ひろみ、山下達郎、前川清、神野美伽、綾小路きみまろ、辻井伸行、西本智実指揮九響、第1回市民芸術祭、日教組教研集会	2012	美輪明宏、佐渡裕×シエナ、キムヨンジャ、小林幸子、郷ひろみ、水樹奈々、千昌夫、新沼健治、アンジェラアキ、細川たかし、タッキー&翼、島津亜矢、ウィーン交響楽団、ヨハン・シュトラウス・アンサンブル、全国障害者芸術祭水森かおり、さだまさし、AAA、佐渡×シエナ、ゴールデンボンバー、郷ひろみ、山下達郎、前川清、神野美伽、綾小路きみまろ、辻井伸行、西本智実指揮九響、第1回市民芸術祭、日教組教研集会
2013	市民芸術祭、日教組教研集会	2013	市民芸術祭、日教組教研集会
2014	齊藤和義、アンジェラアキ、水川きよし、矢沢永吉、ゴールデンボンバー、JUJU、秋元順子、AKB48、葉加瀬太郎、高関健揮九響	2014	齊藤和義、アンジェラアキ、水川きよし、矢沢永吉、ゴールデンボンバー、JUJU、秋元順子、AKB48、葉加瀬太郎、高関健揮九響
2015	一青窈、前川清、SKE48、小林幸子、加山雄三、Supathy、郷ひろみ、玉置浩二、UVER world、市川海老蔵、辻井伸行、綾小路きみまろ、クリスハート、HY、斉藤和義、九響×平原綾香	2015	一青窈、前川清、SKE48、小林幸子、加山雄三、Supathy、郷ひろみ、玉置浩二、UVER world、市川海老蔵、辻井伸行、綾小路きみまろ、クリスハート、HY、斉藤和義、九響×平原綾香
2016	島津亜矢、布施明、山下達郎、フォレスト、水川きよし、Miy Children、水谷千重子、前川清、aiko、三山ひろし、オレンジレンジ、郷ひろみ、倭田来未、由紀さおり、安田祥子	2016	島津亜矢、布施明、山下達郎、フォレスト、水川きよし、Miy Children、水谷千重子、前川清、aiko、三山ひろし、オレンジレンジ、郷ひろみ、倭田来未、由紀さおり、安田祥子
2017	スターダストレビュー、梅沢富美男、安室奈美恵、綾小路きみまろ、鳥羽一郎、さだまさし、米村でんじろう、山下達郎、元ちとせ、中孝介、郷ひろみ、倭田来未、フォレスト、SEKAI NO OWARI、辻井伸行、島津亜矢、岡本知高、九響×森山良子、大黒摩季	2017	スターダストレビュー、梅沢富美男、安室奈美恵、綾小路きみまろ、鳥羽一郎、さだまさし、米村でんじろう、山下達郎、元ちとせ、中孝介、郷ひろみ、倭田来未、フォレスト、SEKAI NO OWARI、辻井伸行、島津亜矢、岡本知高、九響×森山良子、大黒摩季
2018	小曾根真、大黒摩季、秋川雅史、市川海老蔵、THERAPY、福田洋介、前川清、北島三郎、森昌子、西野カナ、C&K、MISIA、UVER world、さだまさし、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、布袋寅泰	2018	小曾根真、大黒摩季、秋川雅史、市川海老蔵、THERAPY、福田洋介、前川清、北島三郎、森昌子、西野カナ、C&K、MISIA、UVER world、さだまさし、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、布袋寅泰
1998	高橋真梨子、さだまさし、米良美一、鈴木雅之、小林幸子、GLAY、八代亜紀、西郷輝彦、郷ひろみ、スピッツ、石川さゆり、スターダストレビュー、由紀さおり、安田祥子、NHK交響楽団、奥田民生、南こうせつ	1998	高橋真梨子、さだまさし、米良美一、鈴木雅之、小林幸子、GLAY、八代亜紀、西郷輝彦、郷ひろみ、スピッツ、石川さゆり、スターダストレビュー、由紀さおり、安田祥子、NHK交響楽団、奥田民生、南こうせつ
1999	鳥羽一郎、山川豊、天童よしみ、奥田民生、南こうせつ、米倉利紀、藤あや子、徳永英明、SOBHA、矢沢永吉、細川たかし、浜田省吾、桂銀淑、藤田まこと、Kino、松原のぶえ、錦織健	1999	鳥羽一郎、山川豊、天童よしみ、奥田民生、南こうせつ、米倉利紀、藤あや子、徳永英明、SOBHA、矢沢永吉、細川たかし、浜田省吾、桂銀淑、藤田まこと、Kino、松原のぶえ、錦織健
2000	山崎まさよし、美川憲一、小椋佳、キムヨンジャ、大橋純子、小田和正、松山千春、スターダストレビュー、SOBHA、郷ひろみ、舟木一夫、都はるみ、弦哲也、徳永英明、天童よしみ、フジ子ヘミング、ウィーン少年合唱団、吉田兄弟、全国農業青年交換大会	2000	山崎まさよし、美川憲一、小椋佳、キムヨンジャ、大橋純子、小田和正、松山千春、スターダストレビュー、SOBHA、郷ひろみ、舟木一夫、都はるみ、弦哲也、徳永英明、天童よしみ、フジ子ヘミング、ウィーン少年合唱団、吉田兄弟、全国農業青年交換大会
2001	Amio、小椋佳、郷ひろみ、中村美津子、山崎まさよし、美川憲一、森公美子、久石譲、MOO、ベルリン交響楽団、奥田民生	2001	Amio、小椋佳、郷ひろみ、中村美津子、山崎まさよし、美川憲一、森公美子、久石譲、MOO、ベルリン交響楽団、奥田民生
2002	川中美幸、さだまさし、渡辺美里、舟木一夫、スターダストレビュー、SOBHA、高橋真梨子、キムヨンジャ、都はるみ、チャゲ&飛鳥、坂東三津五郎、全国緑の少年団活動発表大会	2002	川中美幸、さだまさし、渡辺美里、舟木一夫、スターダストレビュー、SOBHA、高橋真梨子、キムヨンジャ、都はるみ、チャゲ&飛鳥、坂東三津五郎、全国緑の少年団活動発表大会
2003	中村美津子、谷村新司、森進一、森昌子、天童よしみ、スターダストレビュー、井上陽水、橋幸夫、清水アキラ、由紀さおり、安田祥子、梅沢富美男・前川清、綾小路きみまろ、小椋佳、中村美津子、ワルシャワシンフォニア交響楽団、炎博基金地域活性化事業	2003	中村美津子、谷村新司、森進一、森昌子、天童よしみ、スターダストレビュー、井上陽水、橋幸夫、清水アキラ、由紀さおり、安田祥子、梅沢富美男・前川清、綾小路きみまろ、小椋佳、中村美津子、ワルシャワシンフォニア交響楽団、炎博基金地域活性化事業
2004	千昌夫、研ナオコ、矢井田瞳、Tilite、水川きよし、高橋真梨子、ゴスペラーズ、綾戸智絵、森進一、森昌子、梅沢富美男・前川清、さだまさし、松浦亜弥、ティーンズミュージカルSAGA、開館15周年記念事業、千住真理子、中島潔、坂本冬美、森山良子、水前寺清子、舟木一夫、スターダストレビュー、山崎まさよし、D&B、綾小路きみまろ、岡本知高、綾戸智絵、二葉百合子、モーニング娘、キムヨンジャ、スピッツ、森山直太郎、我妻宏光、佐賀ふるさと秋コンサート	2004	千昌夫、研ナオコ、矢井田瞳、Tilite、水川きよし、高橋真梨子、ゴスペラーズ、綾戸智絵、森進一、森昌子、梅沢富美男・前川清、さだまさし、松浦亜弥、ティーンズミュージカルSAGA、開館15周年記念事業、千住真理子、中島潔、坂本冬美、森山良子、水前寺清子、舟木一夫、スターダストレビュー、山崎まさよし、D&B、綾小路きみまろ、岡本知高、綾戸智絵、二葉百合子、モーニング娘、キムヨンジャ、スピッツ、森山直太郎、我妻宏光、佐賀ふるさと秋コンサート
2005	坂本冬美、森山良子、水前寺清子、舟木一夫、スターダストレビュー、山崎まさよし、D&B、綾小路きみまろ、岡本知高、綾戸智絵、二葉百合子、モーニング娘、キムヨンジャ、スピッツ、森山直太郎、我妻宏光、佐賀ふるさと秋コンサート	2005	坂本冬美、森山良子、水前寺清子、舟木一夫、スターダストレビュー、山崎まさよし、D&B、綾小路きみまろ、岡本知高、綾戸智絵、二葉百合子、モーニング娘、キムヨンジャ、スピッツ、森山直太郎、我妻宏光、佐賀ふるさと秋コンサート
2006	梅沢富美男、由紀さおり、安田祥子、島田洋七、水森かおり、松平健、天童よしみ、綾戸智絵、倉木麻衣、山崎まさよし、川中美幸、スターダストレビュー、松山千春、スガシカオ、GLAY、プラハ室内歌劇場「魔笛」、全国豊かな海づくり大会	2006	梅沢富美男、由紀さおり、安田祥子、島田洋七、水森かおり、松平健、天童よしみ、綾戸智絵、倉木麻衣、山崎まさよし、川中美幸、スターダストレビュー、松山千春、スガシカオ、GLAY、プラハ室内歌劇場「魔笛」、全国豊かな海づくり大会
2007	ゴスペラーズ、鳥羽一郎、島津亜矢、梅沢富美男・前川清、綾戸智絵、井上陽水、美川憲一、コロッセ、関ジャニ∞、吉幾三、浜田省吾、BEGINS、さだまさし、ロシアナショナル管弦楽団、青春佐賀総体、夏川りみ、タッキー&翼、八代亜紀、ボルノグラフイティ、森山良子	2007	ゴスペラーズ、鳥羽一郎、島津亜矢、梅沢富美男・前川清、綾戸智絵、井上陽水、美川憲一、コロッセ、関ジャニ∞、吉幾三、浜田省吾、BEGINS、さだまさし、ロシアナショナル管弦楽団、青春佐賀総体、夏川りみ、タッキー&翼、八代亜紀、ボルノグラフイティ、森山良子